

第4節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課は、福祉担当、こども担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当で編成されている。

福祉担当の主な分掌事務は、地域福祉に関すること、民生委員・児童委員に関すること、健康福祉センター等の施設の管理運営に関すること、障がい福祉に関することである。

施設管理運営事業では、効果的で効率的な施設管理と市民の健康及び福祉の充実に図るため、大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）等について指定管理者による施設管理運営を行った。

こども担当では、昼間仕事等をしている保護者が、子どもを保育園や学童保育へ預けるための手続きの受理や子育てに関する相談業務を行った。

放課後児童健全育成事業では、下校後、保護者の就労等により家庭において、監護が受けられない児童に対し、適切な生活の場及び遊びを提供することにより、児童の健全育成を図った。

母子寡婦福祉については、各種福祉サービスの情報提供や相談業務を通して、児童扶養手当の支給手続きを行った。また、配偶者からの暴力被害を受けた女性に対し、保護、自立支援を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、はつらつセンター事業、高齢者ふれあい相談員事業等を実施した。高齢者福祉関係では、配食サービス事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当支給及び紙おむつ購入費助成等事業等の介護予防・生活支援事業を実施した。その他、戦没者遺族の援護や、高齢者デイサービスセンター「まゆみ」について指定管理者による施設管理運営を行った。介護保険関係では、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。

大平地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等に取り組んだ。

健康増進担当の主な事業は、健康おおひら21プラン推進事業、母子保健事業、予防接種事業、健康診査事業、健康づくり事業、自殺予防対策事業である。

母子保健事業では、母親並びに乳幼児の健康保持増進を図るため、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、各種子育て教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見・早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び中学校と連携した性（生）教育を実施した。予防接種事業では、感染症のまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種・高齢者に対するインフルエンザ予防接種・肺炎球菌ワクチン接種を実施した。健康診査事業では、健康診査、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診及びがん検診等を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、健康づくり事

業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談・教育事業を、自殺予防対策事業ではこころの健康保持増進を図るため、こころの健康相談やゲートキーパー研修会等を実施した。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員68人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、うち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
177	31	28	41	4	22
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
8	357	86	1,755	2,509	36.9

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
2,106	81	767	7,300	14,571	24,825	365.1

(3) ふれあい健康福祉まつりへの参加

民生委員児童委員及び主任児童委員が、地域でどのような役割を担い、日々活動しているかを多くの地域住民に知ってもらうため、PR活動を行うとともに、子どもの遊び場“キッズパーク”を開設した。

実施日 5月26日（日）

場所 大平健康福祉センター、大平地域福祉センター

2 施設管理運営状況

(1) 大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」の管理運営を、いすゞビルメンテナンス株式会社に委託(指定管理)し、実施した。

ア 利用状況

・年度別利用者数

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数(人)	197,307	204,969	210,137

・開館日数 307日

・1日平均入場者 684.4人

・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	調理実習室併用	母子指導室・ 調理実習室併用	総合計	開館日数(日)
4	12,044	2,505	650	192	444	376	282	219	110	-	-	16,822	25
5	12,500	2,704	608	119	549	344	640	311	175	-	-	17,950	27
6	11,494	2,778	453	180	700	260	497	357	140	-	-	16,859	26
7	11,273	2,712	555	226	524	377	376	412	89	-	-	16,544	26
8	11,733	2,509	493	222	433	329	500	351	116	-	-	16,686	27
9	11,122	2,431	516	256	899	296	442	392	119	-	-	16,473	25
10	12,274	2,670	672	226	777	209	715	289	92	-	-	17,924	27
11	12,647	2,597	419	321	1,002	363	992	659	59	-	-	19,059	26
12	12,679	2,392	392	229	883	340	727	434	139	-	-	18,215	25
1	13,150	2,498	388	194	699	422	514	305	135	-	-	18,305	24
2	11,965	2,289	389	102	741	399	403	378	120	-	-	16,786	23
3	13,604	2,456	509	111	810	371	392	216	45	-	-	18,514	26
合計	146,485	30,541	6,044	2,378	8,461	4,086	6,480	4,323	1,339	-	-	210,137	307

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

(ア) 歌謡ショー

アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー

- ・開催回数 18回
- ・観覧者延べ人数 1,577人

(イ) 伝統芸能・舞踊

太鼓演奏、民謡や舞踊の伝統芸能ショー

- ・開催回数 9回
- ・観覧者延べ人数 885人

(ウ) カラオケ等

生バンドによるカラオケや、審査員によるカラオケ大会

- ・開催回数 7回
- ・観覧者延べ人数 565人

(エ) 芝居

人情芝居を中心とした時代劇

- ・開催回数 4回
- ・観覧者延べ人数 295人

(2) 大平地域福祉センター「ふるさとふれあい館」

ア 利用状況

・年度別利用者数

年度 区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数(人)	17,467	15,923	18,264

・開館日数 317日

・1日平均入場者 57.6人

・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	研修室	和室	ルーム ボラン ティア	陶芸室	木工室	学習室	ロビー・ 応接室	総合計	開館日数 (日)
4	776	346	134	139	25	147	33	1,600	27
5	385	334	86	105	33	127	2,421	3,491	25
6	492	307	130	130	17	157	239	1,472	28
7	518	336	111	119	17	168	107	1,376	28
8	530	238	82	88	6	138	156	1,238	29
9	475	305	100	126	12	142	71	1,231	26
10	835	309	121	129	24	165	94	1,677	28
11	564	316	89	95	22	171	111	1,368	25
12	450	256	116	115	4	119	96	1,156	24
1	448	304	112	57	11	103	77	1,112	24
2	432	261	150	91	17	129	113	1,193	25
3	529	318	154	99	9	129	112	1,350	28
合計	6,434	3,630	1,385	1,293	197	1,695	3,630	18,264	317

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ふるさとふれあい館のロビーと通路で、毎月、利用団体の作品の展示を行い、活動の活性化を図った。また、下記の通り自主事業を実施した。

(ア) 新春 親子茶道体験

・お茶の飲み方や立て方の体験

・参加者 8人

(大人2人、子供3人、幼児3人)

(イ) 楽しいお琴演奏会

・琴の体験演奏

・参加者 36人

(大人32人、子供4人)

- (ウ) できることからはじめてボランティア
 - ・児童・生徒を対象としたボランティア活動講習会
(盲導犬センターの見学)
 - ・参加者 71人
(市内小学校4～6年生)
- (エ) 普通救命講習会
 - ・参加者 19人
 - ・協力 消防署大平分署

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者に対し創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、社会福祉法人すぎのこ会に委託（指定管理）し、実施した。

- ・施設名 大平地域活動支援センター
- ・所在地 大平町真弓1396
- ・開所日数 249日
- ・通所延べ人員 1,375人

4 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況） （単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	平成25年度中交付者数
視覚障がい	36	2
聴覚・平衡障がい	157	7
音声・言語・そしゃく障がい	10	1
肢体不自由障がい	477	37
内部障がい	247	24
複合障がい	25	1
合計	952	72

5 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数） （単位：人）

区分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	9	5	36	39	89
中度（B1）	9	3	32	26	70
軽度（B2）	5	6	26	18	55
合計	23	14	94	83	214

6 精神障がい者福祉関係

- (1) 精神障がい者の現況（精神障害者保健福祉手帳交付者数）

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	18	19.6
2 級	61	66.3
3 級	13	14.1
合 計	92	100

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、269人が受給した。

7 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

(単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義 肢	義 手	-	-	-	-	-	-
	義 足	-	-	-	-	-	-
装 具	下 肢	10	4	14	-	-	-
	靴 型	1	1	2	-	-	-
	体 幹	-	-	-	-	-	-
	上 肢	-	-	-	-	-	-
座 位 保 持 装 置		1	1	2	-	-	-
盲 人 安 全 つ え		-	-	-	-	-	-
義 眼		-	-	-	-	-	-
眼 鏡	矯 正 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
	遮 光 眼 鏡	1	-	1	-	-	-
	弱 視 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
補 聴 器	高度難聴用ポケット型	-	2	2	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	11	4	15	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	1	1	2	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	3	5	8	-	-	-
車いす	普 通 型	-	8	8	-	-	-
	そ の 他	-	3	3	-	-	-
電 動 車 い す		-	2	2	-	-	-
起 立 保 持 具		-	-	-	-	-	-
座 位 保 持 い す		-	-	-	-	-	-
歩 行 器		-	-	-	-	-	-
歩 行 補 助 つ え		-	-	-	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		1	-	1	-	-	-
特 例 補 装 具		-	-	-	-	-	-
合 計		29	31	60	-	-	-

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付

(単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	-	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	2	-
訓 練 い す	-	-
入 浴 補 助 用 具	1	-
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	1	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	-	-
頭 部 保 護 帽	-	-
特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	1	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	1
電 気 式 た ん 吸 引 器	5	2
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	-	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	1	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	1	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	-	-
点 字 図 書	-	-

ス ト マ 用 装 具	-	-
紙 お む つ	-	-
収 尿 器	-	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	1	-
合 計	13	3

8 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	1
肢 体 不 自 由	1
心 臓 機 能 障 が い	7
腎 臓 機 能 障 が い	66
合 計	75

9 育成医療

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度で、8人が受給した。

10 各種手当の状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数	
特定疾患介護手当	34	
重度心身障がい児扶養手当	4	
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	5
	障がい児福祉手当	3
	福祉手当（経過的）	-
特別児童扶養手当	7	

11 身体障がい者等福祉関係

- (1) 身体障がい者の自立更生について、1人の身体障害者相談員が相談指導に当たった。
- (2) 知的障がい者の自立更生について、1人の知的障害者相談員が相談指導に当たった。
- (3) 障がい者と健常者の交流事業として、若葉OHIRAカローリングのつどいを実施

した。

・参加者 109人

12 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付しタクシー料金を助成した。

(単位：人)

区 分	交 付 者 数
高齢者（80歳以上）	170
高齢者（65～79歳）	31
障がい者	40
腎臓機能障がい者	24
合 計	265

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

下校後、保護者の就労等により家庭において、保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として実施した。（大平地域4小学校区内・7学童保育）

学童保育入所者数

(単位：人)

学年 学童保育名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
大平中央①(大平中央小)	10	6	16	8	12	20	5	8	13	23	26	49
大平中央②(大平中央小)	6	3	9	6	9	15	8	9	17	20	21	41
大平南①(大平南小)	5	6	11	3	-	3	9	5	14	17	11	28
大平南②(大平南小)	4	0	4	4	3	7	6	4	10	14	7	21
大平東(大平東小)	7	8	15	4	3	7	6	4	10	17	15	32
大平西①(大平西小)	13	16	29	4	10	14	9	7	16	26	33	59
大平西②(大平西小)	3	1	4	1	-	1	2	-	2	6	1	7
計	48	40	88	30	37	67	45	37	82	123	114	237

2 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に対し支給を行った。

・児童手当受付件数 493件

3 赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、誕生祝金を交付した。

事業名	祝金額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	104
	第三子以降 20,000円	

4 児童扶養手当

父母の離婚や死亡等により、父または母と生計を同じくしていない児童や、父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給手続きを行った。

- ・児童扶養手当認定請求受付件数 24件

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（大平地域 4月1日現在）

区分	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	総人口(人)		29,653	29,666
65歳以上人口(人)		6,081	6,315	6,632
総人口に対する割合(%)		20.51	21.29	22.38

(2) 高齢者生活態様 (5~6月調査結果)

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		6,632	100
内 訳	独居	553	8.3
	高齢者世帯※ (世帯数)	1,535 (762)	23.2
	その他	4,544	68.5

※ 65歳以上のみで構成される世帯

2 敬老祝賀事業

9月1日(基準日)において、本市に引き続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせて敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	178
90歳	20,000	84
95歳	30,000	16
100歳	100,000	5
101歳以上	50,000	7

3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の 80 歳以上の高齢者数に 1,000 円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 49 自治会等
- ・補助額 1,866,000 円

4 老人クラブ育成指導事業

老人クラブ連合会大平支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・単位老人クラブ数 28 クラブ
- ・市老人クラブ連合会大平支部会員数 1,097 人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 1,278,000 円
市連合会大平支部助成 1,022,000 円

5 老人スポーツ大会

老人クラブ連合会大平支部主催により、個人・団体競技スポーツ等を行い、クラブ会員の健康増進と親睦並びに交流を図った。

- ・実施日 10 月 24 日 (木)
- ・会場 大平運動公園
- ・参加人数 689 人

6 はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちとなり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 大平地域内に居住するおおむね 65 歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館、集会所、広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 21 センター (24 自治会)
- ・委託料 2,723,950 円

- ・実施回数 延べ 3,720 回
- ・利用者数 延べ 40,110 人

7 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食 300 円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65 歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方
- ・宅配個数 8,352 個
- ・宅配人数 69 人（実人数）
- ・宅配業者 このひら配食サービス 沼和田町 13-3
 （株）金時給食センター 柳橋町 6-29
 ワタミタクシヨク（株） 仲方町 306-5
 新味紀行（株） 大平町西水代 2953-12

8 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 128 人
- ・訪問世帯数 795 世帯

9 老人ホーム等入所措置支援

老人ホーム等入所措置入所前の支援を実施した。（入所措置は本庁高齢福祉課で実施）

- ・養護老人ホーム入所措置支援 -件
- ・特別養護老人ホーム入所措置支援 -件

10 日常生活用具購入費助成事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	31
小型暖房器具	32
電磁調理器	1
火災警報器	-
自動消火器	-

11 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活

用具のレンタル料の一部を助成した。

・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	10
特殊寝台	3
じょく瘡予防用具	1

12 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況 (単位：台)

既設置台数	25年度設置台数	25年度撤去台数	計
102	18	17	103

13 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数(延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
175	194	369

14 紙おむつ購入助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数(延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
166	186	352

15 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 -人
- ・延べ回数 -回(-時間)

(2) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者数 14人
- ・延べ利用時間数

(単位：時間)

家事	218
除草	86
植木手入れ	34
大工	19

(3) 在宅高齢者短期入所事業

- ・利用者数 -人
- ・延べ宿泊数 -日

16 大平高齢者デイサービスセンター「まゆみ」

大平高齢者デイサービスセンター「まゆみ」の管理運営を、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会に委託(指定管理)し、実施した。

(1) 利用状況

- ・年度別利用者数

年度 区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数(人)	9,312	8,887	9,604

- ・開館日数 294日
- ・1日平均入場者 32.6人
- ・月別内訳 (単位：人)

区分 月別	延べ利用人数	利用実人数
4	831	78
5	752	79
6	776	78
7	823	77
8	875	81
9	799	78
10	844	79
11	819	83
12	765	83
1	750	84
2	720	81
3	850	81
合計	9,604	962

(2) 事業実施状況 (指定管理者による自主事業)

区 分	事 業
介護予防及び介護関係	(1) 筋力アップ訓練事業 (2) 口腔衛生事業 (3) 認知症予防事業 (4) 福祉教育事業
通所施設関係	(1) カラオケ (2) 囲碁・将棋 (3) 紙芝居や演芸などの鑑賞
年間事業	(1) 花見及びお茶会 (2) 七夕会 (3) かき氷 (4) 敬老の日 (5) クリスマス会 (6) 豆まき会 (7) 利用者の誕生日会
その他	(1) 施設を開放し、見学会を開催 (2) シルバー大学OBによるレクリエーション ボランティアの受入れ（10回開催）

17 介護保険業務各種受理状況

(単位：件)

内 容	件 数
要介護認定要支援認定申請 相談・受付・入力	863
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	32
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	5
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	6
転入・転出・転居 資格管理等	8
転送希望届申請 受付・入力	18
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	179
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	6
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	1
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	-
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	55
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	48
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	68
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	188

障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	11
オムツ使用証明申請 受付・発行	4
介護保険事業者事故報告 受付	2

18 地域包括支援センター事業

(1) 設置状況

大平地域包括支援センター 大平町西野田 666-1 大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）内

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業の対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握状況

基本チェックリストによる対象者数 709人

(イ) 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、複合型機能向上、閉じこもり・認知・うつ予防等の教室を実施し、要介護状態等となることの予防及び自立した生活を送るための支援を行った。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	37	524
複合型機能向上	20	267
複合型機能向上（その他）	3	56
閉じこもり・認知・うつ予防	24	197
合計	84	1,044

(ウ) 訪問型介護予防事業

希望者はなかったが、通所型介護予防事業の教室数を増やし対応したこともその要因の一つであるとする。

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

a にこにこ教室

65歳以上の高齢者を対象に教室を開催した。内容は運動器機能向上、栄養改善、閉じこもり予防等である。

会場の運営協力には「ますます元気サポーター」が中心となり、地域に根差した活動を展開した。

- ・会 場 各地区公民館 19 会場（1 会場を新設することができた。）
- ・実 施 日 4・8 月を除く月 1 回の開催
- ・実施状況

	回 数（回）	延べ人数（人）
運動器機能向上	152	2,281
栄養改善	3	47
閉じこもり予防	30	466
その他	20	33
合 計	205	2,827

b スペシャルにこにこ教室

にこにこ教室の継続参加により運動器機能向上の効果が得られ、運動に自信の着いた方を対象に、運動負荷をかけエアロビクス要素を取り入れたレベルアップ教室を開催することができた。

回 数（回）	延べ人数（人）
12	191

c 健康福祉まつりでの普及啓発活動

地域包括支援センターの周知と介護予防の普及啓発を目的に実施した。終了後のアンケート結果から、内容について良かったと回答された方は 99 人中 87 人の 87.8% だった。また、「地域包括支援センターを知っていますか」の問いでは 81 人 81.8% の方が知っているとの回答があった。

- ・会 場 大平健康福祉センター（健康福祉まつり会場）
- ・実 施 日 5 月 26 日（日）
- ・参加者数 121 人
- ・内 容 劇団いくりによる演劇と講話の開催
テーマ「目で見てわかる認知症ケア」

d 出前講座等

地域の団体を対象に介護予防の普及啓発や健康相談等を実施した。

回 数（回）	延べ人数（人）
7	137

(イ) 地域介護予防活動支援事業

a ますます元気サポーター養成講座

介護予防事業における高齢者への支援に取り組むサポーターの養成を行った。また、効果的かつ効率的な教室の開催、サポーターの育成を目指し藤岡地域包括支援センターとの合同開催とした。

- ・実施状況（大平地域分のみ）

	回数(回)	人数(人)
養成講座	5	76

養成講座フォローアップ教室	3	33
---------------	---	----

b ますます元気サポータースキルアップ教室と活動

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識の習得、サポーター間の情報交換や交流ができる機会を設け、地域活動の人材育成や支援を行った。

・ますます元気サポーター数 57人

・実施状況

	回数(回)	人数(人)
スキルアップ (運動講話と実技・体力測定実技・運動指導 ロールプレイ・熱中症対策など)	8	196
研修会・交流会	1	38
介護予防事業時の体力測定	8	40
次年度準備会	1	40
災害伝言サービス等講習会	1	28
健康福祉まつり	1	8
普通救命講習	1	30
ゲートキーパー養成講座	1	26
合計	22	406

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント業務

二次予防事業対象者が要介護状態になることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。また、要支援状態になった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況

地域包括支援センターによる作成件数 118件

・要支援1・2の介護予防サービス計画作成状況 (単位：件)

	件数
地域包括支援センターによる作成件数	17
事業者委託件数	112
合計	129

・サービス担当者会議実施状況

地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加 144回

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況 (単位：件)

	件数
地域包括支援センターによる作成件数 (住宅改修)	3

” (福祉用具)	3
-------------	---

イ 総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心し、その人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況 (単位：件)

	件数
面接	836
電話相談	1,438
家庭訪問	608
合計	2,882

ウ 権利擁護業務

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、関係各課担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応を行った。

・実施状況

	件数 (件)
権利擁護 (成年後見制度等) に関すること	4
高齢者虐待に関すること	72
高齢者虐待ケース会議	7
合計	83

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ア) 民児協での地域包括支援センターの役割の説明会

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 65人

(イ) 多職種との連携

地域における多職種との連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行った。また、今年度は在宅支援関係者の資質の向上を目的に専門医の協力を得て研修会を開催することができた。

・研修会「医療と在宅支援者との連携について

～精神科医から学ぶ在宅支援における役割～

講師：医療法人栄仁会大平下病院 院長 藤沼仁至氏

- ・実施日：1月29日(水)
- ・参加事業所数：29か所

・参加人数：50人

(4) 任意事業

ア 家族介護支援事業

今年度は栃木市全体で、在宅介護の苦勞、精神的な負担を軽減しリラックスできることを目的とした家族介護者の集いを開催した。

・研修先 コミュニティカフェ「若年性元気サロン」にて

代表の金澤林子氏をファシリテーターに交流会を開催。

・実施日 12月12日(木)

イ 地域自立支援事業（24時間通報体制）

地域包括支援センターへの相談等に随時対応するため夜間等電話相談業務委託を行った。

・実施状況

	相談日実数(日)	相談件数(件)	緊急対応(再掲)
休日(土日・祝日)	27	34	1
平日夜間	21	26	1
合計	48	60	2

ウ 高齢者地域見守り支援事業

地域における認知症高齢者の見守り体制の構築を目的に、認知症に関する広報・啓発活動、徘徊高齢者を早期発見できる仕組みの構築・運動、認知症高齢者に関する知識を深め地域を支えるための認知症サポーターを養成した。今年度は学童保育との連携にて児童を対象に実施することができた。

認知症サポーター養成講座実施状況

	実施回数(回)	養成者数(人)
学童保育	5	219
一般団体	2	40
合計	7	259

エ 傾聴事業

高齢者の社会的な孤立感や不安等の解消を図るとともに、生きがいを推進することを目的に、高齢者の自宅や介護施設を訪問し傾聴活動を行う傾聴ボランティア団体の活動のための補助金を交付。

・傾聴ボランティア団体数 1団体(会員26名)

・補助金額 150,000円

・傾聴ボランティア活動実績

活動内容	回数(回)	会員参加延べ人数(人)
施設訪問	65	301
個人宅訪問	63	120
研修会・交流会等	8	70

定例会	10	199
役員会・その他	5	19

健康増進担当

1 健康おおひら21プラン推進事業

「情報」「食生活」「運動」「こころ」「たばこ・アルコール」「健康診査」の6項目を重点領域とし、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

- ・健康まつり等における健康情報の提供
- ・健康づくりポスターコンクールの開催
- ・各種健診・教室等において食、運動に関する知識の普及啓発
- ・健診結果等に基づいた健康教室の開催
- ・こころの健康相談の開催や幼児健診時にこころの相談を実施
- ・絵本の読み聞かせ事業の推進
- ・学校との連携の下、思春期講演会や喫煙防止教室の開催
- ・集団健康診査時を利用し、当日会場において個別相談を実施
- ・歯の健康に関する普及啓発（幼児健診、健康まつりなど）
- ・食生活改善推進団体協議会との共催による栄養教室の開催及び協議会の育成

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳を交付した。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況 (単位：人)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
	妊娠届出	双胎	紛失等	
231	242	231	8	3

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診

査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

・実施状況

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	217	212	97.7	15	6	1	8
乳児健康診査 (9か月児)	12	224	221	98.7	39	9	-	9
1歳6か月児 健康診査	12	241	236	97.9	42	8	-	8
3歳児 健康診査	12	264	260	98.5	60	12	23	23

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
6	260	214	82.3	10 (4.7%)

オ 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達に遅れがあると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

※受診児延べ数は大平・藤岡地域合同数

開催回数 (回)	受診児数(人)			結果内訳(人)		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
8	55	2	57	14	41	2

カ 乳児先天性股関節脱臼検診(数値は、本庁健康増進課で一括計上)

3~4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室

妊婦と夫に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

・実施数 3回1コース

※参加者延べ数は大平・藤岡地域合同数（単位：人）

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
94	40	2	10	5

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では3～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施回数 12回

・参加者延べ数 110組

・内容 離乳食講話、ふれあい遊び、子育て相談、身体計測等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

※参加者延べ数(組)は大平・藤岡地域合同数

	対象月齢	回数(回)	参加者延べ数(組)
ちゃいちゃいぐるーぷ	3歳未満	17	111
ぺんぎんぐるーぷ	3歳～就学前	11	47

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情・自己肯定感や自己決定能力を高めていくため、思春期講演会を大平地域内中学校(2校)と連携し行った。

対 象	参 加 人 数(人)
大平中学校	生徒 232 保護者等 38
大平南中学校	生徒 313 保護者等 33
一般参加者	31

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)

・参加者延べ数 221組

カ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市1町との共催で小学1年生と年長児に対しフッ素塗布及び

歯科医師による歯の健康相談を行った。（年1回）

・フッ素塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合計
129	86	215

キ よい歯のコンクール（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 798人

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度の発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況 (単位：人)

受診者数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
240	176	3	18	10	29	4

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 7件
- ・指導延べ数 8件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うと共に、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

・訪問数 201件（保健師訪問数28件、母子保健推進員訪問数173件）

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（大平地域16人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談等を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	健診等事業協力	計
件数(件)	181	173	343	697

また、会員相互の連携を図り、母子保健の向上に寄与するため栃木市母子保健推進員協議会を市全体で設置し、研修や交流を行った。(母子保健推進員総数125人)

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導等を行った。

(1) 特定健康診査後期高齢者健康診査及びヤング健診

- ・実施回数 15回
- ・実施場所 大平健康福祉センター

(2) 健診当日説明会

特定健康診査受診者を対象に、生活習慣を見直すきっかけを作るため、健診当日会場にて説明を行った。

- ・実施回数 12回
- ・参加者数 874人

(3) 健診結果説明会

特定健診受診者を対象に、健診結果の正しい理解や自分の生活習慣を見直すきっかけ作りの機会として、集団指導及び個別相談を行った。

- ・実施回数 8回
- ・参加者数 49人

(4) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	初回面接指導数(人)	初回面接実施率(%)
積極的支援	59	34	57.6
動機付け支援	121	78	64.5
合計	180	112	62.2

(5) メタボ予防講座

講座名	実施回数(回)	参加者数(人)	内容
筋力アップですっきり教室	24	342	メタボ等の生活習慣病予防、筋力の向上に必要な運動習慣が身に付けられるような講話と運動の実践を行った。
食の学習	6	43	特定保健指導対象者に対して昼食を持参し、空腹時・食後1時間・食後2時間の自己血糖値を測定した。食事と血糖値の運動性を体感するとともに、自分に合った食事の目安量や食べ方のコツなどを学習し、生活スタイルの見直しを行った。

4 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査(健康増進法による)、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症健診及び歯周疾患検診(個別健診)等を行った。

- ・ 集団健診実施回数 15回
- ・ 集団健診実施会場 大平健康福祉センター

5 結核検診事業

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を宇都宮健康クリニックに委託し行った。

- ・ 実施会場数 35会場
- ・ 受診者数 2,045人

6 健康づくり事業

(1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教室名	実施回数(回)	参加者数(人)	内容
糖尿病予防教室	1	13	糖尿病予備軍の人を対象に、糖尿病の正しい知識の普及啓発と栄養・運動指導を実施し、糖尿病予防のための行動変容を促した。 特に、空腹時・食後血糖値に焦点をあて、早期に予防・治療に取り組めるよう心がけた。
短期間ですっきり教室	8	112	特定健康診査受診者で、肥満等生活習慣病の予備軍の方を対象に、運動についての知識・実技指導を行った。
女性の健康づくり 「ヨガ・ピラティス教室」	3	60	女性に起こりうる健康問題に対する知識の普及を行うとともに、ヨガ・ピラティスを通して運動習慣がない方に対し運動習慣の重要性を啓発した。
ロコモ予防で生涯元気教室	1	23	講話やロコチェック・骨密度測定等を通じ、ロコモティブシンドロームに対する理解を深め、骨・関節・筋肉の機能維持増進の啓発を行った。
カラダ元気はお口から 「おくちピカピカ健口教室」	2	46	歯周疾患予防の重要性について理解を深め関心を高めることを目的として、歯周疾患や生活習慣病との関係についての講演を行った。また、口腔ケアの方法を習得で

			きるよう、みがき残しチェックやブラッシング等の実践的な指導を行った。
出前講座（生活習慣病予防等）	3	36	地域や団体を対象に集会所等に出向き、健康に関する知識の普及、啓発を行った。
健康づくりポスターコンクール	1	124	健康づくりの大切さを考えることを目的に、小中学生よりポスターを募集しコンクールを行った。また、展示し市民への健康づくりのメッセージとした。
喫煙防止教室 （小学6年生と保護者）	1	179	「薬物乱用防止教育」の一環として「喫煙防止教室」を行った。

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 10回
- ・延べ相談者数 20人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・延べ相談者数 4人
- ・内容 管理栄養士による個別指導
- ・指導内訳

(単位：人)

高血圧症	2	糖 尿 病	1	腎 臓 病	1
脂質異常症	-	肝 臓 病	-	そ の 他	-

7 自殺予防対策事業

(1) こころの健康相談（カウンセラー）

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、うつ・ストレス・不眠等の心の健康問題の個別相談に応じた。

- ・実施回数 10回
- ・相談者数 19人

(2) 自殺予防ゲートキーパー研修会

住民の身近な存在である傾聴ボランティア団体やますます元気サポーターを対象に、自らの心の健康状態を振り返ると共に、ゲートキーパーの役割を理解し、こころの悩みやサインに気づき適切な支援につなげられる人材の養成を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加者数 34人

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため、各種の定期及び任意予防接種並びに高齢者インフルエンザ

及び高齢者肺炎球菌予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

不活化ポリオ、BCG、三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）、二種混合（ジフテリア・破傷風）麻しん風しん混合（MR）、日本脳炎、四種混合（ジフテリア・百日咳・ポリオ・破傷風）、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、高齢者インフルエンザ接種を予防接種協力医療機関において実施した。

(2) 任意予防接種

小児用インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、風しん抗体検査及びワクチン接種を予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9 地域保健対策推進事業

(1) ふれあい健康福祉まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、第20回ふれあい健康福祉まつりへ参加した。

・実施日 5月26日(日)

・場 所 大平健康福祉センター、大平地域福祉センター（単位：人）

番号	実施内容	参加人数
1	食育ポイントラリー	95
2	骨密度測定・結果説明及び指導	70
3	歯の健康相談・ブラッシング指導	39
4	血管年齢測定	89
5	献血	35
6	自殺予防普及啓発用ティッシュ等配布	300
7	健康づくりポスターコンクール（投票）	802
参 加 者 合 計		1,430

(2) 食生活改善地区組織活動

地域住民を対象に 食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等を行った。

・大平支部会員数 31人

・講習会開催回数 8回

・参加人数 291人

(3) 自主グループ活動支援（リフレッシュ運動教室OB会・男前運動教室）

運動教室等修了者の自主グループ活動の支援を行った。

・会の運営のアドバイス

・体力測定、骨密度測定

(4) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数 70世帯

・保健師訪問指導 205人（延べ人数）

・内訳

(単位：人)

精神保健	50	生活習慣病	3	妊産婦	37	新生児	8
乳児	55	幼児	41	低体重児	4	その他	7

10 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、栃木市献血会連絡協議会の協力のもと、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
3	72	17	43	-	60	12